

# 時をこえて十勝の川を旅しよう！

## 十勝の川の成り立ちから、川の歴史・文化まで

十勝の川をフィールドとした総合的学習の手引き

### 大まかな構成

**第1章 十勝の平野や川ができるまで (17ページ)** — 地質からわかる十勝のこと

**第2章 十勝の先史時代と川 (67ページ)** — 遺跡からわかる十勝のこと

**第3章 十勝のアイヌ文化と川 (107ページ)** — アイヌ文化に彩られた十勝のこと

**第4章 十勝開拓と川 (153ページ)** — 開拓が始まってからの十勝のこと

**第5章 発展、今、そして未来へ (203ページ)** — 太平洋戦争が終わってからの十勝のこと

この本は、基本的に、過去から現在へ時間経過にしたがって構成されています。

ただし、章立てについては、第1章「地質時代」、第2章「アイヌ文化より前の先史時代」、続いて「アイヌ文化期」「開拓期」「戦後・現代」、というとらえ方で分けています。そのため、例えば、第1章と第2章、あるいは第3章と第4章および第5章に関しては、時間的に重なる部分があります。

こうした場合には、同時期のことがらを、それぞれの章で、それぞれの章の視点から述べています。最終氷期についていえば、氷河・カール地形・火山灰・氷期の生き物に関しては第1章に、旧石器時代を担った人間の文化や遺跡に関しては第2章に、それぞれ記載してあります。

その上で、またがる章のどちらにも、背景となることやつながりを持つことについて、重複して述べてあります。

また、総合的学習でよくテーマとして取り上げられる「環境(●)」「国際理解(●)」「地域産業(●)」に関連する場合、目次と各項目トップページに色分けした印をつけてあります。

年代に関しては、原則的に、紀元前のことについては「〇〇年前」、紀元後については西暦によって「〇世紀」または「0000年」、明治時代以降については和暦と西暦で「元号〇年(0000)」と表記しています。

敬称に関しては、歴史上の人物やかなり前に亡くなっている有名人の名では略し、一般人に近い人や存命の人、最近亡くなった人の名にはつけています。(ただし、文学の項目、引用の場合は例外)

漢字は原則として、小学校で習う漢字を使用し、かなだと読みづらい場合(と中→途中、など)や用語、固有名詞、引用文などについてはそれ以外の漢字も使用しました。ふりがなは、用語と固有名詞(十勝・十勝地方・十勝川・北海道・日本を除く)、小学5年生以上で習う漢字をふくむことばなどにつけました。図表内の文字や引用もとの人名、未確認の人名などには、ふっていない場合、あるいは「(?)」をつけてある場合もあります。

いずれについても例外がありますので、ご注意・ご容赦ください。

